

新規認証申し込みにおける認証有効期限の考え方

有効期限			平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)
・単相で3kW以上10kW未満のPV用 受付終了	従来認証 (平成23年9月30日までの受付分) 受付終了	5年間	5年間									
	従来認証 (平成23年10月1日からの受付分) 受付終了	平成27年3月31日まで	平成26年度末(平成27年3月31日)まで									
・単相で20kW未満のPV用 (新型能動的方式及びFRT要件対応)	①多数台連系認証 (FRT残電圧30%であり、位相変化に対応していない製品) 受付終了	5年間又は平成29年3月31日までのいずれか早い日	5年間又は平成28年度末(平成29年3月31日)までのいずれか早いほう									
	②-1 多数台連系認証 [平成25年1月1日からの受付分] (FRT残電圧20%であり、位相変化には対応していない製品)	平成29年3月31日まで	平成28年度末(平成29年3月31日)まで									
	②-2 多数台連系認証 [平成24年12月31日までの受付分] (FRT残電圧20%であり、位相変化には対応していない製品)	5年間	5年間(平成24年12月末日まで申込み分)									
	③多数台連系認証 (FRT残電圧20%及び残電圧52%・位相変化41°に対応している製品)	5年間(有効期限終了時、更新試験に適合すれば期間延長可)	5年間 → 更新5年間									
・単相で3kW未満のPV用 ・単相で10kW以上20kW未満のPV用	従来認証 (平成23年9月30日までの受付分) 受付終了		5年間									
	従来認証 (平成23年10月1日からの受付分)		5年間又は平成28年度末(平成29年3月31日)までのいずれか早いほう									
・三相で20kW未満のPV用 受付終了	従来認証		5年間又は平成28年度末(平成29年3月31日)までのいずれか早いほう									
・三相で50kW未満のPV用	FRT対応 (残電圧30%に対応している製品) 受付終了	平成29年3月31日まで	平成28年度末(平成29年3月31日)まで									
	FRT対応 (残電圧20%に対応している製品)	5年間(※3)	5年間 → 更新5年間									
	多数台連系認証(FRT対応) (残電圧30%に対応している製品) 受付終了	平成29年3月31日まで	平成28年度末(平成29年3月31日)(残電圧30%に対応している製品)まで 5年間(残電圧20%に対応している製品)									
	多数台連系認証 (多数台連系対応型1)	5年間	5年間									
・単相で2kW未満のGE用 ・単相で10kW未満のFC用 ・単相で10kW以下のBS用	従来認証 (平成25年6月30日までの受付分) 受付終了	5年間	5年間									
	従来認証 (平成25年7月1日からの受付分)	平成30年3月31日まで	平成29年度末(平成30年3月31日)まで									
	多数台連系認証(FRT未対応) (平成25年6月30日までの受付分) 受付終了	5年間	5年間									
	多数台連系認証(FRT未対応) (平成25年7月1日からの受付分)	平成30年3月31日まで	平成29年度末(平成30年3月31日)まで									
	多数台連系認証(FRT対応) (平成25年7月1日からの受付分)	5年間 (有効期限終了時、更新試験に適合すれば期間延長可)	5年間 → 更新5年間									
・単相で2kW以上10kW未満のGE用 ・三相のGE用、FC用及びBS用	従来認証	5年間 (有効期限終了時、更新試験に適合すれば期間延長可)	5年間 → 更新5年間									
・単相で10kW以下のMD(PV+BS)用 ・単相で10kW未満のMD(GE+BS)用※1 ・単相で10kW未満のMD(FC+BS)用	JEM1498に対応 FRT未対応※2	平成30年3月31日まで	平成29年度末(平成30年3月31日)まで									
	JEM1498に対応 FRT対応	5年間 (有効期限終了時、更新試験に適合すれば期間延長可)	5年間 → 更新5年間									
・単相で10kW未満のEV用	JEM1498に対応 FRT対応	5年間	5年間									
・単相で10kW未満のMD(PV+EV)用	JEM1498に対応 FRT対応	5年間	5年間 → 更新5年間									

運用見直し①: 平成23年10月1日  
 運用見直し②: 平成24年10月1日  
 運用見直し③: 平成25年6月5日  
 運用見直し④: 平成25年11月29日  
 運用見直し⑤: 平成26年6月4日  
 運用見直し⑥: 平成27年7月1日  
 運用見直し⑦: 平成27年10月1日  
 運用見直し⑧: 平成28年8月31日

→ は認証品の製造期限を示しています。

注: 電圧上昇抑制機能試験は平成27年3月1日から新基準に移行しています。  
 なお、平成28年2月29日までに申込みされた製品については、旧基準の適用が可能となりますが、認証の有効期限が平成32年2月29日までとなります。

PV用: 太陽光発電システム用系統連系保護装置  
 GE用: ガスエンジンコージェネシステム用系統連系保護装置  
 FC用: 定置用小型燃料電池システム用系統連系保護装置  
 BS用: 定置用リチウムイオン蓄電池システム用系統連系保護装置  
 MD用: 複数直流入力システム用系統連系保護装置  
 EV用: 電気自動車等搭載蓄電池(直流接続型)用系統連系保護装置

単相PV用の多数台認証基準は、新型能動方式とFRTの両方を適用いたします

GE用、FC用およびBS用の多数台認証基準は、新型能動方式とFRTの両方を適用するものと新型能動方式のみを適用するものがあります

GE用、FC用およびBS用のFRT対応は、残電圧20%及び残電圧52%・位相変化41°に対応している製品をいう

MD用は、JEM1498に対応し、FRT未対応のものに対応のものがあります

※1: ガスエンジン単体の出力は2kW未満とする。  
 ※2: 認証を取得している製品において、部分変更でFRT要件に対応した製品にあっては、認証取得日から起算して5年間の有効期限とすることができる。  
 ※3: FRT対応は、三相機器用の新型能動的方式が標準化され次第、速やかに多数台連系認証(新型能動的方式とFRT要件の両方を適用した製品)に移行します。  
 なお、多数台認証移行後にFRT対応型は適用範囲から除外いたします。